

令和6年度第1回郷土文化館協議会 概要

1 日 時 令和6年10月18日（金） 午後2時～3時40分

2 会 場 小田原市観光交流センター イベントスペース

3 出席者

（1）郷土文化館協議会委員

田尾委員長、山下副委員長、篠原委員、田嶋委員、星野委員、永山委員

（2）市事務局側

大木部長、田村生涯学習課長、鈴木副課長、土屋主査、吉野主事、喜田主事補

4 会議の概要

部長の挨拶の後、異動・新入職員が自己紹介を行った。その後、議事に移り、進行は田尾委員長が行った。

・議題3 報告事項（1）「令和5年度第2回協議会（紙面開催）の質疑について」 （資料1）

前回の協議会（紙面開催）で委員から出た質問や意見について、事務局が紙面で回答を提示した。質問等は特になし。

・議題3 報告事項（2）「令和5年度・令和6年度上半期 郷土文化館事業について」 （資料2～13）

このことについて、まず会議資料に沿って事務局から概要を報告した。報告後、次のような討議が行われた。

ア「令和5年度 郷土文化館入館者数」（資料2-1）について

- ・R5年10月、11月に入館者が多い理由について委員より質問があり、暑さも落ち着き、学校等の団体利用が増加することが要因の一つと事務局が説明した。
- ・近年外国人旅行客が増加するなかで、展示見学のルール作りの検討も必要ではないかとの意見が委員より出された。

イ「令和5年度 学校利用状況」（資料2-3）について

- ・中学校の団体見学が無く、天守閣へは行くが、郷土には寄らない現状があることについて、呼び込み等の努力が必要との意見が委員よりあり、呼び込みの努力と、若い世代にも分かりやすい展示に切り替えていく工夫を続けていくと事務局が回答した。

ウ「令和5年度 その他普及事業 実施概要」（資料4-1）について

- ・三の丸ホールの通路で常設のパネル展示はできないのか委員より質問があり、当該施設

は市民の活動が優先される場であり、ハルネ地下街など公共利用に適した場でパネル展示を行っている」と事務局が説明した。

エ「令和5年度 資料調査・収集・管理等業務 実施概要」(資料5-1)について

- ・石造物調査の実施内容について委員より質問があり、既刊行物である『小田原の石造物』などの過去の調査記録を基に、現状の把握を行っている」と事務局が説明した。委員からは、劣化状況の記録がその後の修復の役に立つとのアドバイスをいただいた。
- ・収蔵庫の空き容量について委員より質問があり、デジタルミュージアム創設作業の中で整理を進めたことで、現在は若干の余裕があるが、引き続き収蔵に適した施設を探すなどの検討は進めていく」と事務局が回答した。
- ・収集基準はあるのか委員より質問があり、過去に作成し、ホームページ上で公開していると事務局が回答した。委員からは、他館では廃棄基準を作成しているところもあり、収蔵品の整理の中で必要に応じて作成したらどうかとの意見が出された。
- ・寄贈を受け入れるか否かの判断はどのようにしているのか委員より質問があり、収集基準を基にして、複数の学芸員が資料的価値を確認し、公共施設として保管するだけの価値があるかどうか判断していると事務局が回答した。

オ「令和6年度上半期(4月～9月) 郷土文化館入館者数」(資料8-1)について

- ・R6年6月の入館者数が前年比約2倍となっている理由について質問があり、原因は不明と回答した。

カ「令和6年度上半期(4月～9月) 松永記念館入館者数」(資料8-2)について

- ・R6年夏季の台風等の影響について委員より質問があり、松永記念館については土砂災害警戒情報が出された際に休館対応にした」と事務局が回答した。また、雨天が続いた時期に、茶室にキノコが生えたことがあり、換気を頻繁に行うなど対処したことを事務局が報告した。

キ「令和6年度上半期(4月～9月) 資料調査・収集・管理等業務 実施概要」(資料11-1)について

- ・石造物だけでなく、屋外彫刻も調査の対象としてはどうか委員より意見があり、所管が異なるが、文化部全体で将来的に対応を検討していく」と事務局が回答した。

・議題4 協議事項(1)「令和6年度下半期 郷土文化館事業について」(資料14～18)

このことについて、会議資料に沿って事務局から概要を説明し、次のような討議が行われ、承認された。

ア「令和6年度下半期(10月～3月) 博物館構想推進事業における取組計画(案)」(資料18-1)について

- ・デジタルミュージアムについて、注目度の高い天守閣を取り込んでいってはどうか委員

より意見があり、既に天守閣、図書館、尊徳記念館、文化財課といった複数の機関で運営している状況を事務局が説明した。

- ・改正博物館法の登録博物館にするのか委員より質問があり、現状で登録博物館の要件は満たしていると思われるが、現在はメリット・デメリット等を精査しており、具体的に検討する際は本会で協議させていただくと事務局が説明する。委員からは、イベント等も多く開いており、活発に活動していることから、登録博物館としてはどうかとの意見が出された。
- ・委員より、現在の博物館基本構想は、以前の構想から10年経ち再び作成したものである。それからまた7年が経っており、社会状況の変化に応じて改訂など必要ではないかとの意見が出された。
- ・委員より、昨今博物館の建て替えが進んでいるが、郷土文化館のレトロな雰囲気の良いところもある。中身は更新していくとして、建物を活かしてはどうかとの意見が出された。

5 その他

- ・委員より、会議資料の字を大きくし、両面刷りにして嵩を減らして欲しいとの意見があり、次回以降そのようにすると回答した。

以上をもって協議を終了した。

協議後、郷土文化館で開催されている企画展「学校に眠るお宝展」の視察を行った。